

第 30 期東京都立図書館協議会について

1 協議テーマ（案）

「都立図書館の DX とその先にあるサービス」

『未来の東京』戦略（令和 3 年 3 月）の基本戦略の一つに「デジタルトランスフォーメーション（DX）で「スマート東京」を実現」がある。デジタルの力で都政の QOS を飛躍的に向上させ、都民の QOL を高める必要があるとしている。

都政の DX 推進が加速する中、都立図書館においても、デジタルの力でサービスを変革し、さまざまな都民へのサービスを向上させる必要がある。

第 30 期では、①いつでもどこでも誰でも利用できる図書館の実現に向けた「DX による利便性向上」及び②誰もが利用したくなる図書館の実現に向けた「利用者に応じたサービスの進化」という 2 つの観点から協議いただく。

2 協議の視点

（1）DX による利便性向上

都立図書館の現状、DX に向けた課題を整理した上で、生活様式の変化等を踏まえつつ、実現すべき新たなサービスの在り方や、変革の進め方を具体的に検討する。

（2）利用者に応じたサービスの進化

デジタルの力を活用し、様々な理由で来館が難しかった方など、誰もが利用したいと思う図書館の実現に向け、具体的な利用者像を想定しつつ、充実すべき取組を検討する。

<想定される利用者像>

高齢者、障害者、外国人、働く世代、子供・子育て中の方、教育を受ける世代、等

3 協議の留意点

『未来の東京』戦略、「都立図書館在り方検討委員会最終報告～AI 時代の都立図書館像～」等が示す方向性を踏まえると共に、協議会委員の知見を取り入れ、新たなサービスの創出等に向けて協議する。

東京に集う人々の課題と知的欲求に応えるため、先端的なデジタル技術を積極的に活用すると同時に、実物や実空間でしか得られない体験やリアルな人のつながりの意義を捉え直し、施設やサービスにおけるリアルとバーチャルの融合の在り方を検討する。

4 協議の方法

協議内容に応じ、作業部会を設置し、定例会に向けた実質的な協議と、提言とりまとめのための資料調整を行う。

【作業部会設置案】※部会名は仮称

DX による利便性向上部会
松本直樹委員（部会長）・植村八潮委員・関根千佳委員・橋雅子委員
利用者に応じたサービス部会
松本直樹委員（部会長）・久我尚子委員・新居みどり委員・和気尚美委員・赤羽淳子委員